

朝日山地森林生態系保護地域の保全管理

朝日山地森林生態系保護地域管理委員会

6月21日（月）、山形市のあこや会館において朝日山地森林生態系保護地域管理委員会が開催され、ボランティア巡視活動、モニタリング調査や管理計画の変更などについて論議されました。管理計画の変更については、第二期となり拡張されたモニタリングに対応する記述に改めるとともに、スノーモービルへの対応について明文化することが決まりました。



朝日山地森林生態系保護地域巡視員会議（春季）

夏山シーズンの開始に当たり、6月26日（土）、鶴岡市の朝日山村開発センター（すまいる）で巡視員会議を開催しました。新たに登録された6名の巡視員への委嘱状交付の後、今年度の活動方針などについて意見交換を行いました。

会議終了後は第2部として、「森林の生物多様性について」と題して当センター所長青山が講演しました。



緑の回廊の自然再生活動

第四回鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊(土湯の森)自然再生実施協議会

6月2日に自然再生実施協議会を開催しました。今回は再生活動実施箇所の最上川スキー場跡地において、森林再生ゾーン（植付区・刈払区）・自然推移ゾーンの各箇所の植生の回復状況等について現地確認を行った後に、戸沢村役場会議室で協議会を実施しました。



現地確認を終えて

協議会では、昨年度の事業報告と本年度の事業計画等について協議を行いました。委員から植付区の補植について指摘されたほか、「この取組は自然再生活動と森林環境教育を組み合わせる実施しているのが特徴であり、多くの生徒が参加できるように工夫が必要。」「継続性のある内容で実施することが重要。」等の意見が交わされました。

第1回プログラム

新緑の白布平ブナ林で森と遊ぼう

5月22日（土）、長井市内の小学生親子6名が参加して飯豊少年自然の家との共催で開催されました。

スタート地点でサルへの歓迎を受けた後、慎重に吊り橋を渡り、新緑のブナ林の散策を楽しみました。みんなで木の洞に入ったり、樹木や草花の話の聞き、ムササビの巣穴も見つけ、珍しい発見に興味津々。お昼には川原で焼いたイワナの塩焼きをほおぼりました。

山形県猟友会と小国の自然を守る会の方々が講師を務めました。



第3回プログラム

伝説の大鳥池を訪ねて



大鳥交流体験学習として実施されました。

木や草や花、ふしぎな形のキノコや虫を観察しながら、大鳥池を目指しました。晴天にも恵まれ、全員元気に山登りの達成感を満喫しました。

山形県山岳連盟と出羽三山の自然を守る会の方々が講師を務めました。



雪溪を越えて

第2回プログラム

カッチャバ湿原で初夏の昆虫観察



ハッチョウトンボ

6月12日（土）、山形市内の小学生親子14名が参加して開催されました。カッチャバ湿原では羽化して間もないハッチョウトンボやコオイムシなど様々な昆虫が観察できました。オトシブミが木の葉を巻いているのを見て、小さな虫の力に皆驚いていました。

午後は山形から世界の昆虫について標本や生体も見て学びました。大井沢博物館と山形昆虫同好会の方々が講師を務めました。



オトシブミ



第4回プログラム

釣りキチあつまれ！ 朝日山地で森とイワナを学ぼう



講師の指導で慎重に竿を繰ることで釣ることとしましたが、ほとんどの子供達が釣果を上げることができました。

午後は、森とイワナにまつわる講師の話の聞き、セミナーハウスの囲炉裏で焼いたイワナを頬張りました。山形県溪流釣協議会の方々が講師を務めました。

7月10日（土）、西川町大井沢で小学生等の親子41名の参加で開催されました。

前日からの雨による増水で安全なポイントが減少していたため、班ごとに交代



森の遊えんち♪

森の遊えんち♪は、鶴岡市が掲げる「森林文化都市」構想を推進する環境教育プロジェクトで、あさひむら観光協会が主催し、当ふれあいセンターも共催しています。

6月13日（土）に行われた第4回の「森の遊えんち♪」には、最年少2歳児から10家族25名の方に来園いただきました。初夏の青空の中、どこまでも真っすぐ伸びるブナの木の上を目指し、みんなでロープを使った木登りを楽しみました。ブナの木についてのツキノワグマの爪痕やエゾハルゼミの抜け殻、葉っぱの大きさなど、普段よりちょっと高い場所から森を観察しました。



みどりの保育園を支援

西荒瀬保育園は山形県みどり環境税を活用して「みどりの保育園」推進事業に取り組んでおり、当センターも当初から協力しています。特に今年度は、庄内森林管理署と2月に協定した、保育園に隣接する遊々の森「しんちゃん森」を主な拠点に、熱心に森林環境教育を行っています。

春からの取り組み

巣箱づくりと野鳥観察 4月27日（火）

しんちゃんの森の森林整備 5月8日（土）、6月5日（土）

クロマツ探検隊 5月25日（火）、7月13日（火）

チョッキン草刈隊 6月24日（木）



巣箱に入ったシジュウカラ

活動の成果か、しんちゃんの森で遊ぶことが大好きな子が増え、また、「かぶれるもの」として、多くの子がツタウルシを識別できるようになりました。

今後は、「森で歌おう」「広葉樹林の探索」「採取した種の植付」等の行事を行い、子供達が庄内海岸林のクロマツのように伸び伸びと成長出来るように手助けをしていきたいと考えています。



クロマツ探検隊



コロニーで営巣中のアオサギ



チョッキン草刈隊

中学生の森林ボランティアを指導

6月14日（月）、酒田市立第一中学校と同第五中学校の一年生182名が、酒田市光ヶ丘の国有林の森林整備（枝打ち）を行い、「庄内公益の森づくりを考える会」の構成員として当センターも指導に当たりました。中にはノコギリに不慣れな者もいましたが、全員の頑張りでもクロマツ林は見違えるほど綺麗になり、保安林としての機能向上が図れました。

作業後の代表学生の挨拶では、「庄内海岸林が私達の生活を守ってくれる大事なものであることを実感し、来年4月に統合する両校の良い思い出づくりが出来た」と、感謝の言葉がありました。



4月1日付けで異動がありました。

お世話になりました

庄司友治 自然再生指導官

(庄内森林管理署へ)

3年の間、皆様大変お世話になりました。ありがとうございました。

センターでの業務ではそれぞれの専門分野の人達が多く関わっていたので、保全活動等を通して学ぶことが沢山あり、短く感じた3年間でした。

庄内森林管理署に配転になってもフィールドは同じです。一緒に活動する機会も多いと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



庄司卓矢 自然再生指導官

(秋田森林管理署湯沢支署へ)

主峰の大朝日岳を中心とした高い山々からクロマツの海岸林。生態系の保全活動から保育園児への森林環境教育などと、「ふれあいセンター」での活動は日々変化に富んだものでした。

地域住民から専門家など多く人が業務に関わっている点も「ふれあいセンター」の特徴ですが、沢山の方々にお世話になったにもかかわらず、十分なお挨拶ができなかったことをお許しください。

短期的な取り組みでは成果が得られないなど、大変なことも多いとは思いますが、「豊かな森」へと繋がる「ふれあいセンター」の取り組みが、より多くの方たちの協力を得ながら進められていくことを願っています。



よろしくお祈いします

大内伊智郎 自然再生指導官

(環境省東北地方環境事務所から)

4月1日付けの異動で東北地方環境事務所野生生物課からお世話になることになりました。東北地方環境事務所野生生物課では、野生生物の許認可を主とする業務を行ってきました。森林管理署では治山業務を長く担当してきました。ふれあいセンターで行っているふれあい業務は初めての業務で少し戸惑いもありますが、諸先輩の指導の下、業務を覚えて行きたいと考えています。現在は、酒田市宮海の西荒瀬保育園における森林環境教育を保育園及び庄内森林管理署と協働して行っています。ふれあいセンターにおいては、庄内海岸林・高館山自然休養林の保全活動等に関する業務を担当します。どうぞ、よろしくお願いいたします。



瀬高孝男 自然再生指導官

(四万十ふれあいセンターから)

4月1日付けで四国局から朝日庄内森林環境保全ふれあいセンターへ異動となりました。当センターでは国有林の森林生態系の保護管理、自然再生の業務を目的としています。管轄区域は山形県の県北から県南に亘り、朝日連峰を中心とした山岳地帯で、昔から山岳信仰の地でもあります。また、二百年の歴史を背景とした海岸林の存在にも魅了される、自然の美しさと厳しさを併せ持った地でもあります。管轄面積も広い上、厳しい山登りも年齢・体力的に辛さを感じますが、この地の自然界と一体となってシャープな体型が維持できるよう精力的に業務に励んで参りたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



コウモリフェスティバル

コウモリを身近に感じてもらうため行われてきたコウモリフェスティバル。今年は庄内あさひで開催します。ご参加下さい。



8月28日(土) 講演会・観察会 月山朝日サンチュアパーク

8月29日(日) 講演会 出羽庄内国際村

コウモリ展 7月24日(土)～8月29日(日) 月山ビジターセンター

ウエツキブナハムシ情報

昨年、成虫に比べて幼虫が少なく、終息に向かうかと思われた湯殿山周辺ですが、猛暑の影響もあってか、昨年より早くからブナハムシが発生し、ブナの森は既に色づいています。昨年拡大したところも含め、今後の被害状況に注目していきたいと思えます。登山の際などにお気付きの点がありましたら、センターにもお知らせ下さい。



編集後記

ゲリラ豪雨が去って、いきなりの猛暑。今年は早くからセミが賑やかです。各地で熱中症多発のニュースも。皆様もご注意下さい。▲誌面の都合で小さい文字も使用しました。見づらい点はお容赦下さい。

発行

東北森林管理局
朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター

〒997-0404

山形県鶴岡市下名川字落合3

TEL: 0235-58-1730 FAX: 0235-58-1731

E-mail: t_syounai_f@rinya.maff.go.jp

Home Page:

<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/asahi/>